

令和6年度 第2次募集の選抜・評価方法

学校番号 51

千葉県立松戸六実高等学校 全日制の課程 普通科

1 選抜資料

(1) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(2) 面接	受検者1名・評価者2名の個人面接 検査時間：1名5分
(3) 作文	日本語で600～800字

2 評価項目及び評価基準

(1) 調査書〔160点満点〕

アの数値に、エについて加点（上限25点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値に $K=1$ を乗じた数値で評価する。評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	3か年で30日以上欠席がある場合は審議の対象とする。
ウ 行動の記録	〇が一つも無い場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項	学級活動・生徒会活動・学校行事・部活動・その他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述については加点する。
オ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。

(2) 面接〔50点満点〕

次のア、イについて、それぞれ2名の評価者が、3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。

2名の評価者による、評価項目ごとの評価の組合せ(a a～c c)で得点化する。c cの評価の組合せがある場合、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望の動機・意欲	志望の動機や高校生活に対する目標、意識が明確である。
イ 質問に対する応答	質問内容を的確に理解し、分かりやすく適切に回答することができる。 中学校時代に頑張ったこと等について明確に回答することができる。 将来の進路希望等について、具体的に回答することができる。
ウ 身だしなみ・態度	服装・頭髪等身だしなみが整えられている。 基本的な面接作法が身に付いている。

(3) 作文〔50点満点〕

次のア、イについて、それぞれ2名の評価者が、3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。

2名の評価者による、評価項目ごとの評価の組合せ(a a～c c)で得点化する。c cの評価の組合せがある場合、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 内容	作文題を的確にとらえた文章になっている。 意見・理由・説明が具体的で適切である。
イ 構成	文章の構成が分かりやすく論理的である。 各段落に内容的なまとまりがある
ウ 表現・表記	文章表現が適切である。 文字・単語の表記が適切である。 字数・語数が適切である。

3 選抜方法

(1) 選抜の方法

「調査書の得点」、「面接の得点」及び「作文の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、募集人員までを入学許可候補者とする。

〈総得点の満点の内訳〉

調査書の得点		面接の得点	作文の得点	総得点
評定(K=1)	加点			
135点	25点	50点	50点	260点

(2) その他

ア 自己申告書が提出された場合には、選抜のための資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはしない。

イ 入学許可候補者とした者のうち、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による入学許可候補者数が、細部協定書の示す制限比率を超えていないことを確認する。

(3) その他

過年度卒業者については、検査終了後、別途個人面談を行う。